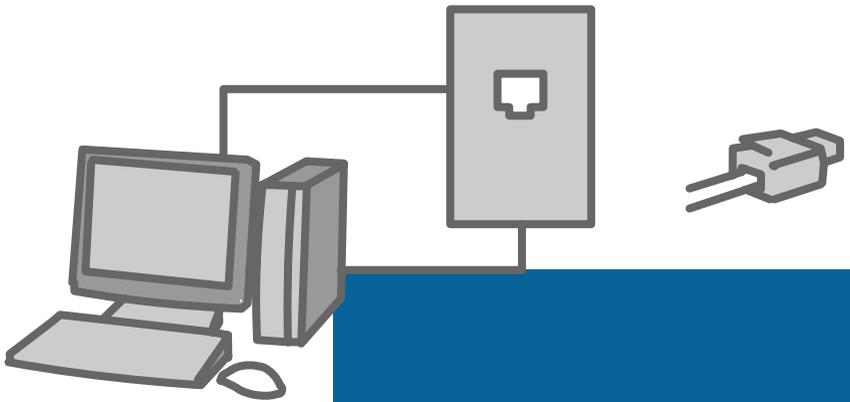


付録

インターネット接続例

Windows98

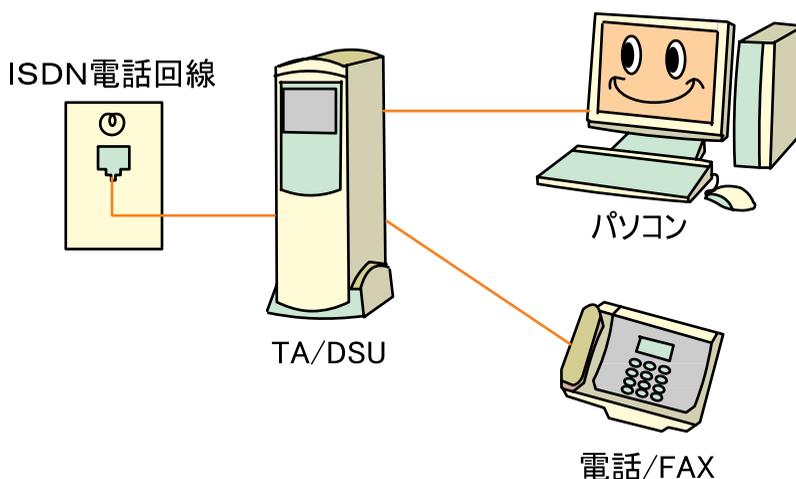


付録 インターネット接続例 Windows98

ここでは実際にインターネットに接続する方法を紹介します。Windows98ではインターネット接続ならびにプロバイダの設定が、ウィザードに従うことで簡単にできるようになりました。最初からインターネット接続を意識したOSであることがよくわかります。最寄のプロバイダの情報をダウンロードしてくるなど、これまでいろいろ調べてプロバイダを決めていたことに比べると格段に便利になりました。

1. インターネットに接続するまでの準備

インターネットをやりたいと思っているのだけれど、どのパソコンを買っていいかわからないと悩んでいる方はいませんか。最近のパソコンは安い上に高性能、多機能になり、買ったその日からインターネットということが現実になってきています。購入の際に注意することは、モデムを内蔵しているかどうかということでしょう。もしISDN（デジタル電話回線）を利用して64Kbpsの接続をしたい場合は、内蔵モデムは必要ありません。代わりにINS接続用のDSU内蔵のTA（ターミナルアダプタ）が必要になります。このTAから今まで使っていた電話を接続することになります。



ここではモデムによるインターネット接続を紹介します。

2. Windows98 を使ってインターネット接続する

Windows98 では、まだコンピュータをインターネットに接続していない時には、デスクトップ上に [インターネットに接続] アイコンが表示されています。このアイコンをクリックするか、[スタート] ボタンをクリックし、その中の [プログラム] から [Internet Explorer] をポイントし [接続ウィザード] をクリックすることで、インターネット接続ウィザードを起動す



(図1)

ることができます。ウィザードの最初の画面には、3つのオプションが表示されています。ここでは、初めてのインターネット接続をするので、オプション1の [新しいインターネットアカウントを設定する] を選びます

(図1)。次の画面では、市外局番を入力します。市外局番を入力し、[次へ] を押して進んでください。



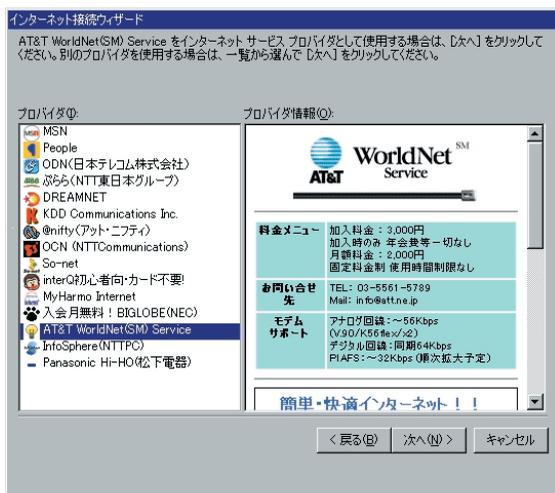
(図2)

次の画面が(図2)のようになります。ここでモデムを電話回線につないでいるかどうかを確認してください。[次に] を押すと自動的に最寄のインターネット サービスプロバイダの一覧をダウンロードしてきます。ダウンロードまでは自

動的に処理されます。ダイヤルの発信音が聞こえない場合は、モデムが正しく電話回線に接続されていない可能性があるので確認してください。

3. インターネットサービスプロバイダ（プロバイダ、ISP）を決定する

ここで、コンピュータからダウンロードされてきた情報が(図3)のように表示されます。左の項目をポイントすると各プロバイダの情報が右に表示されるようになっていきます。プロバイダ選びのポイントは以下の通りです。



(図3)

●料金制度：料金のもっとも気になるところです。料金の体系としては、「加入料金」に加えて、「月額料金」が付加されるのが普通です。「月額料金」の設定には大きく2通りあり、「固定料金制」「従量制」があります。「固定料金制」はその名前の通り、月額の使用料に関わらず直段が固定されています。これだとアクセスした時間を気にせずに使えます（電話会社までの市内通信代金は別途かかります）が、利用時間が少ない方などは逆に余計に代金を支払うことになる場合があります。「従量制」では利用した時間に応じて代金を支払うことになります。プロバイダによっては、月4時間までは定額900円で使用できますが、それ以上のアクセスについては3分20円などというように、従量制と固定制を組み合わせているところも多くあります。ご自身の使用時間に合わせ

て選びましょう。一般的には、使用時間が少ない場合は「従量制」、使用時間の長いヘビーユーザには「固定料金制」が良いようです。

- アクセスポイント：基本的には市内に接続先、アクセスポイントがあることです。3分10円の地域内にあることは、通信料を安くするために必要なことです。

非常に安い料金を提供しているプロバイダがありますが、中には「安いけれど実際にはなかなかつながらない」「すぐに切れてしまう」などの問題があるところもあります。アクセスポイントの数やサポートの状況などについても事前に調べておくとよいでしょう。インプレス社が出版している「インターネットマガジン」という月刊誌の中には、各プロバイダの接続状況やインターネット回線の接続図などの詳細なプロバイダ情報が載っていますので参考にするとよいでしょう。特にNTTが提供しているサービス「テレホーダイ」(夜11時から朝8時までの間、指定した2つの市内通話が月額1,800円の固定料金で使い放題になる)の始まる夜11時以降は急激にユーザが増えるため接続ができないことがあります。この時間帯の接続状況が良いところは非常に使い易いと言えるでしょう。

主なプロバイダ

ODN のダイヤルアップサービス	接続料金は、定額制で月額1,950円	http://www.odn.ne.jp/infooch/whatoch.html アクセスポイント http://www.odn.ne.jp/newterm/index.html
ニフティ	15時間 2,000円 150時間 3,000円 無制限 5,000円	http://www.nifty.com/join/index.htm http://www.nifty.com/join/charge.htm
ぷらら	インターネットセット 入会金 無料 月額基本料金 1,800円で(2:00~23:00)は無制限 ラッシュタイム(23:00~2:00)は月間15時間まで月間15時間を超過した場合は、1分7円の接続料金	http://www.plala.or.jp/plala/start/ver16/guide.html

AT&T World-Net Service	月額2,000円/固定 (加入料30,000円)	http://www.att.ne.jp/
ビッグロブ	30時間迄 2,000円/月 30時間超:10円/分	http://www.biglobe.ne.jp/
DION	150時間迄:3,000円/月 150時間超:5円/分 通話料込みサービス レギュラー 10時間迄:2,850円/月 10時間超:10円/分 ライト 4時間迄:1,750円/月 4時間超:10円/分	http://www.dion.ne.jp/
So-net	20時間迄 2,000円/月 20時間超 10円/3分 150時間迄 3,000円/月 150時間超 10円/3分 5,000円/月 無制限	http://www.so-net.ne.jp/

4. サインアップ

さあ、プロバイダが決まったらサインアップをして契約をしましょう。契約もオンライン上で行うことができます。(図4)の中に個人の情報を入力しサインアップを完了しましょう。全角、半角などの指定をよく確認し間違いのないように記入しましょう。

インターネット接続ウィザード

AT&T WorldNet(SM) Service を ISP としてサインアップするよに選択しました。

インターネットに接続する(には、AT&T WorldNet(SM) Service に次の情報を提供してください。

名前(姓) (可能なら漢字使用、姓と名の間に全角の1スペース要)

フリガナ(姓) (全角カナ使用、姓と名の間に全角の1スペース要)

都道府県(省) 市区町村(市)

住所(号) (数字も含めて全角)

郵便番号(〒) (半角数字) 電話番号(区) (半角数字)

<戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

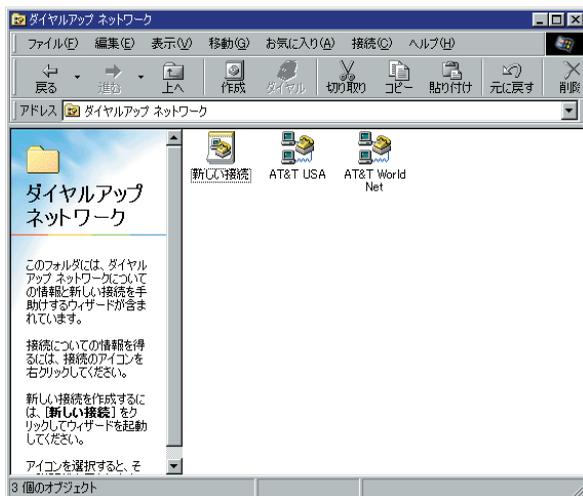
(図4)

5. ダイヤルアップネットワーク

インターネット接続を設定すると、[ダイヤルアップネットワーク] フォルダに接続ごとにアイコンが作成されます。このフォルダは [マイコンピュータ] ウィンドウに表示されます。ダイヤルのプロパティは接続ごとに異なる場合がありますので注意が必要です。[ダイヤルアップネットワーク] フォルダを開けると (図5) のような画面になります。

新しい接続を設定する場合は、[新しい接続] をダブルクリックし、ウィザードに従って、モデムの選択、接続先電話番号を行います。

ここで [AT&T] のアイコンをダブルクリックすると接続画面になります (図6)。プロバイダから指定された電話番号、ユーザID、パスワードを入力して接続ボタンを押すと接続します。



(図5)



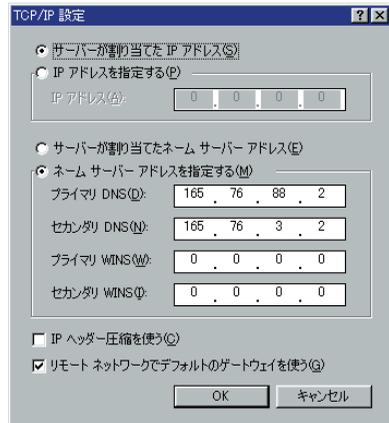
(図6)

6. DNS の設定

インターネット上のアドレスを検索するには、IP アドレスが割り当てる DNS (Domain Name Server) サーバに、コンピュータが接続されている必要があります。一般に、DNS アドレスはプロバイダによって自動的に割り当てられますが、契約しているプロバイダからコンピュータに設定するように指示されている場合は、手動で入力する必要があります。

DNS を手動で入力するには、

- [ダイヤルアップネットワーク]フォルダで、目的の接続アイコンを右クリックします。表示される、メニューの中の [プロパティ] をクリックします。
- [サーバの種類] タブをクリックします。
- [TCP/IP 設定] をクリックし、[ネーム サーバアドレスを指定する] を選択します (図7)。
- [プライマリ DNS]、[セカンダリ DNS] の項目にプロバイダより指定された DNS アドレスを入力します。完了したら [OK] をクリックして完了です。



(図7)

参考文献

- ・「標準パソコン用語辞典」
赤堀侃司（監修） 秀和システム 1999年
- ・「'99 インターネットと教育フォーラム 実践報告書」
インターネットと教育フォーラム実行委員会事務局 1999年
- ・「見てわかるパソコン解体新書」
大島 篤著 ソフトバンク社 1997年
- ・「翼をもったインターネット」
影戸 誠著 日本文教出版 2000年
- ・主婦の友生活シリーズ
「女性のためのネットサーフィン最新ガイド」
主婦の友社 1999年
- ・「よくわかる！ インターネット活用・国際交流のためのガイドブック」
小学館 1999年
- ・「不思議缶ネットワークの子供たち」
美馬のゆり著 ジャストシステム 1997年
- ・「WEB100 個人情報&ネットストーリー編 1999-2000年版」
名犬ヨッシー著 ピー・エヌ・エヌ社 1999年
- ・「WEB100 金銭トラブル&アダルトサイト編 1999-2000年版」
名犬ヨッシー著 ピー・エヌ・エヌ社 1999年
- ・「女性のためのオンラインショッピングブック」
メーリングリスト「LIFE」編著 青樹社 1999年

本冊子の作成については、上記の文献を参考にさせていただきました。

初心者向けのおすすめURL

主婦、学生（小学生～高校生）が使えるような URL

日本語サイト

機 関 名	U R L
宇宙デジタル図鑑	http://www.nhk.or.jp/sci/eye/universe/
NHK週刊こどもニュース	http://www.nhk.or.jp/kdhs/
科学のつまみ食い	http://member.nifty.ne.jp/akaoka/
教育家庭新聞	http://www.kknews.co.jp/
グローバルクラスルーム	http://hasumi.com/gl.htm
サイエンスくるくる	http://s-kurukuru.jst.go.jp/
気象情報のページ	http://asahi-net.or.jp/~er7m-ymmt/
週刊 Student Times	http://www.japantimes.co.jp/shukan-st/index/html
世界自然ネットワーク	http://www.wrn.or.jp/
日本文化インデックス	http://www.japanlink.co.jp/ij/

英語サイト

機 関 名	U R L
Kids Web Japan	http://jin.joic.or.jp/kidsweb/
Web Museum	http://SunSITE.sut.ac.jp/wm/
KIDLINK	http://www.kidlink.org/
The Scholastic Network	http://www.scholastic.com/
Japan Resources on the Web	http://nlu.nl.edu/baker/Japan.html
Studyweb	http://studyweb.com/
Teams	http://teams.lacoe.edu/
Hands-On Universe	http://hou.lbl.gov/
Index of Japan	http://www.japanlink.co.jp/ij/

この URL は財団法人 コンピュータ教育開発センターのホームページのリンク集から一部抜粋したものです。

庭情報ハンドブック編集委員会

委員長／赤堀 侃司 東京工業大学 教授
委員／太田 剛 埼玉大学地域共同研究センター
委員／影戸 誠 名古屋市立西陵商業高等学校 教諭
委員／岸尾 祐二 聖心女子学院初等科 教諭
委員／高木 洋子 テレクラスインターナショナルジャパン

執筆協力者／赤木 恭子 安藤 真美 小林 道夫 近藤多寿子
高谷 洋子 所 華次子 富永 暁子 藤井 晴美
藤田 京子 本田 貴久 水戸喜世子
イラスト／本田 貴久

事務局／今井 正一 (財)コンピュータ教育開発センター

本家庭情報ハンドブックの著作権は、情報処理振興事業協会及び
(財)コンピュータ教育開発センターが所有しています。

平成 12 年 4 月 発行

発行：財団法人コンピュータ教育開発センター
ネットワーク利用促進部

〒 105-0001 東京都港区虎ノ門 1-23-11
寺山パシフィックビル 7F

TEL03-3593-1804 URL <http://www.cec.or.jp/>

*本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標、または商標です。
*製品には特に®、TMマークは明記していません。